

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 43 号 (2024 年 2 月 14 日発行)

1 月の全日本スプリント、2 月の全日本リレーでは多くのご参加をいただきありがとうございました。普段なら自由に走ることでできない場所でのオリエンテーリングを楽しんでいただけたことと思います。

本号の内容

- ・ 第 16 回全日本選手権大会(スプリント)開催報告
- ・ 第 32 回全日本リレーオリエンテーリング大会開催報告
- ・ アジアジュニア・ユース選手権大会 2023 報告
- ・ アジアの動きについて
- ・ 2024FISU 世界大学スキーオリエンテーリング選手権大会を終えて
- ・ 世界スキーO 選手権およびジュニア世界スキーO 選手権 2024 報告
- ・ フットO の日本女子チーム Division2 に昇格！
- ・ 今後の公認大会・講習会のお知らせ

●第 16 回全日本選手権大会(スプリント)開催報告 (スプリント委員会)

2023 年度の全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)を 1 月 7 日東京都世田谷区駒沢オリンピック公園にて開催いたしました。過去最多 701 名のエントリーを迎えました。参加者の皆さまにも、運営にご尽力いただいた皆さまにも、心より感謝申し上げます。

本大会は、多くのチャレンジがあった大会でした。全日本ミドル・ロング同様に選手権クラスの WRE 併催、一般来場者の多い都心の公園での開催、実行委員会の世代交代などが特徴でした。大会当日は熱いレースが繰り広げられました。今年のスプリント WOC に繋がる大会となっていれば幸いです。今後も多くの方の目標となる大会になるよう、準備を重ねて参ります。

大会 Web サイト <https://orienteering.or.jp/jsoc/2023/>

●第 32 回全日本リレーオリエンテーリング大会開催報告

2023 年度の全日本リレーオリエンテーリング大会が 2 月 4 日佐賀県神埼郡吉野ヶ里町にて開催されました。前日にはサンメッセ鳥栖にて地図に関するフォーラムも開催され、新しい技術や地図図式の解説などがありました。

当日は吉野ヶ里歴史公園を会場に、史跡を見ながらのスピードレースとなりました。総合得点では愛知県が東京都を 1 点差で上回り、優勝を飾りました。

来年度は 12 月 8 日に三重県での開催を予定しています。

大会 Web サイト <https://orienteering.sakura.ne.jp/jroc/2023saga/>

●アジアジュニア・ユース選手権大会 2023 報告 (ジュニア委員会)

2023 年 12 月 24～26 日に香港で開催されたアジアジュニア・ユース選手権大会(AsJYOC) に、日本からは男子選手が各世代 6 名ずつの 18 名、女子選手は W20 に 5 名、W18 に 2 名、W16 に 4 名の総勢 29 名で出場しました。選手の選考については、初めて走力基準を取り入れました。選考を通して走力への意識が高まり一定の成果は見られたものの、若年世代ではアジア他国と比べると十分な水準とは言えませんでした。

全体的に年齢が上がると共に他国を上回る結果を出しており、特に M20 は全種目で圧倒し、日本がアジア 1 位であることを見せつけてくれました。学生トップレベルである森、石原潮人、早川が全種目安定して力を発

揮していました。女子の W20 もフォレストでは優勝した川瀬を筆頭に出走した全員が入賞し、スプリントも3人が入賞しました。ただし、レース内容やスプリントで中国、香港の選手に負けているという点では、改善の余地があると感じられました。一方、M16 は浅井のフォレストでのメダル獲得に留まり、M/W16 スプリントリレーでも中国と香港に負けています。若年世代では、中国と香港は簡単には勝てない相手となっています。

一般的にスプリント種目はフォレスト種目と比べ苦戦し、フォレストでメダル 10 個に対し、スプリントはメダル 5 個に留まっています。一方、経験が浅い大野が W16 スプリントで準優勝、走力のある佐々木が W18 で 5 位入賞したのは今後を期待させる結果でした。その他、早川の M20 優勝は徹底した事前研究に基づいており、市街地トレインが少ない日本でも十分対策可能であることを示すこととなりました。

スプリントリレーでは、M/W20 では優勝したものの、大きなミスや失格となる選手が複数見られました。スプリントリレーの経験が少ないことが要因として考えられます。しかし、スプリントリレーの今後に向けた1番の課題は M/W18 および M/W16 の選手確保かもしれません。この世代における男子は比較的人数はいるものの、女子は層が薄くなります。今回も、走力があり潜在能力の高い佐々木が直前で選考されていなければ、M/W18 は出走できませんでした。次回以降も全クラス出走するために今からでも確保に向けて動いていくことが必要でしょう。

本大会への出場にあたっては、帯同いただいた 6 名のチームオフィシャルをはじめ、選手の保護者、所属クラブの方々などから多くの支援が必要でした。チーム T シャツのデザインと販促は名古屋大学の中野さん、柴田さんに助けられました。最後に感謝を記します。ありがとうございました。引き続きジュニア代表チームにご支援いただければ幸いです。

大会 Web サイト

<https://oahk.org.hk/en/asjvoc2023/>

ミドル女子

W20

1	川瀬 智尋	Japan	0:51:27
2	兼子 照美	Japan	0:55:27
3	藤澤 ゆい	Japan	0:57:05
4	牧 依瑠香	Japan	1:00:11
5	LIJUAN CHEN	China	1:03:27
6	砂田 優萌子	Japan	1:04:11

W18

1	PUI YUET SIU	Hong Kong	0:25:24
2	LIUYI ZHU	China	0:27:05
3	山本 美沙	Japan	0:27:25
4	WAI KI FUNG	Hong Kong	0:33:29
5	SHYNAR AMANGELDIYEVA	Kazakhstan	0:33:41
6	YOYO YOU	Hong Kong	0:35:01
9	佐々木 結佳	Japan	0:41:42

W16

1	MAN HEI MERI YAU	Hong Kong	0:17:24
2	XIAORU ZHOU	China	0:20:41
3	大野 知沙子	Japan	0:21:23
4	MANDY WINGYI HO	Hong Kong	0:22:42
5	JERIKA KONG	Hong Kong	0:22:43
6	山本 瑛里	Japan	0:24:57
12	落合 美那	Japan	0:28:41
17	藤原 菜夏子	Japan	0:35:23

ミドル男子

M20

1	森 創之介	Japan	0:30:25
2	石原 潮人	Japan	0:31:38
3	CHUNG YIN TO	Hong Kong	0:34:48
4	古角 海志	Japan	0:36:17
5	JOSHUA HO KIU AU	Hong Kong	0:36:19
6	早川 正真	Japan	0:37:23
13	加藤 賢斗	Japan	0:55:02
14	栗田 稜也	Japan	1:00:41

M18

1	HONG CHING FUNG	Hong Kong	0:30:36
2	小林 透哉	Japan	0:34:01
3	中村 涼太	Japan	0:37:50
4	SHENGJUN MI	China	0:38:05
5	石原 尋季	Japan	0:38:32
6	大石 涼太	Japan	0:40:20
7	平田 海星	Japan	0:40:45
8	吉岡 皆那人	Japan	0:41:20

M16

1	DAVID SIVOLAPOV	Kazakhstan	0:17:39
2	CHEUK YIU JANOS AU	Hong Kong	0:18:12
3	浅井 琉太郎	Japan	0:18:27
4	TIANHAN ZHOU	China	0:20:21
5	SIU PUI LOK	Hong Kong	0:20:29
6	畑田 裕志	Japan	0:20:35
7	水野 舞人	Japan	0:21:19
11	澄川 祐樹	Japan	0:22:47
17	上拾石 幸太郎	Japan	0:25:53
19	平 隆広	Japan	0:26:17



兼子、川瀬、藤澤



石原潮人、森



石原潮人、早川、森

スプリント女子

W20			
1	XINYI GUO	China	0:16:44
2	HOI YAN LO	Hong Kong	0:16:48
3	牧 依瑠香	Japan	0:17:02
4	川瀬 智尋	Japan	0:17:22
5	砂田 優萌子	Japan	0:18:01
6	JING WU	China	0:18:05
8	兼子 照実	Japan	0:18:47
12	藤澤 ゆい	Japan	0:22:02

W18			
1	WAI KI FUNG	Hong Kong	0:16:25
1	LIUYI ZHU	China	0:16:25
3	PUI YUET SIU	Hong Kong	0:16:29
4	YOYO YOU	Hong Kong	0:17:29
5	佐々木 結佳	Japan	0:19:11
6	YITAO CHEN	China	0:19:29
7	山本 美沙	Japan	0:20:13

W16			
1	MAN HEI MERI YAU	Hong Kong	0:13:09
2	大野 知沙子	Japan	0:13:20
3	XIAORU ZHOU	China	0:14:36
4	SHENYUAN ZHANG	China	0:15:11
5	落合 美那	Japan	0:15:18
6	ZIXIN OU	China	0:15:35
12	山本 瑛里	Japan	0:17:43
22	藤原 菜夏子	Japan	0:35:40

スプリント男子

M20			
1	早川 正真	Japan	0:13:56
2	森 創之介	Japan	0:14:36
3	石原 潮人	Japan	0:14:52
4	古角 海志	Japan	0:14:55
5	KAICHENG ZHANG	China	0:15:04
6	JOSHUA HO KIU AU	Hong Kong	0:15:15
7	栗田 稜也	Japan	0:16:35
15	加藤 賢斗	Japan	0:20:01

M18			
1	WENYU FANG	China	0:13:53
2	WANGFENG ZHU	China	0:14:13
3	HONG CHING FUNG	Hong Kong	0:14:48
4	小林 透哉	Japan	0:14:51
5	ZEKAI CHEN	China	0:14:53
6	中村 涼太	Japan	0:15:45
7	吉岡 皆那人	Japan	0:15:58
8	石原 尋季	Japan	0:16:26
10	平田 海星	Japan	0:16:48
19	大石 涼太	Japan	0:24:11

M16			
1	ALOK WOO	Hong Kong	0:13:22
2	CHEUK YIU JANOS AU	Hong Kong	0:13:26
3	HO LAM MARCUS CHEUNG	Hong Kong	0:13:34
4	TIANHAN ZHOU	China	0:13:41
5	SIU PUI LOK	Hong Kong	0:14:08
6	JUNBO YOU	China	0:14:21
9	畑田 裕志	Japan	0:14:57
10	水野 舞人	Japan	0:15:03
13	平 隆広	Japan	0:16:30
16	澄川 祐樹	Japan	0:17:29
17	上拾石 幸太郎	Japan	0:17:37
20	浅井 琉太郎	Japan	0:19:04

スプリントリレー

M/W20		
1	Japan 1	1:04:38
	牧 依瑠香	0:19:25
	早川 正真	0:13:52
	森 創之介	0:13:43
	川瀬 智尋	0:17:36
DISQ	Japan 2	-
	砂田 優萌子	DISQ
	石原 潮人	0:14:45
	古角 海志	0:15:30
	兼子 照実	0:17:46
Extra	Japan MIX	1:07:52
	浅井 琉太郎	0:11:30
	栗田 稜也	0:18:20
	加藤 賢斗	0:17:55
	藤澤 ゆい	0:20:04

M/W16		
1	China 1	0:54:17
	SHENYUAN ZHANG	0:13:08
	YUHAO ZHOU	0:13:31
	TIANHAN ZHOU	0:12:54
	XIAORU ZHOU	0:14:43
3	Japan 1	1:11:24
	大野 知沙子	0:13:56
	水野 舞人	0:20:25
	平 隆広	0:21:49
	落合 美那	0:15:13
DISQ	Japan 2	-
	山本 瑛里	0:20:13
	澄川 祐樹	0:14:42
	上拾石 幸太郎	DISQ
	藤原 菜夏子	0:17:51

M/W18		
1	Hong Kong 1	1:00:36
	WAI KI FUNG	0:14:54
	HONG CHING FUNG	0:13:27
	PAK LONG LAW	0:17:57
	PUI YUET SIU	0:14:16
DISQ	Japan	-
	山本 美沙	0:16:15
	小林 透哉	0:13:36
	中村 涼太	0:13:25
	佐々木 結佳	DISQ
Extra	Japan MIX	0:59:45
	吉岡 皆那人	0:12:50
	石原 尋季	0:14:43
	大石 涼太	0:16:05
	平田 海星	0:16:06



M/W20 優勝チーム
川瀬、森、早川、牧



M/W16 3位チーム
水野、落合、大野、平

●アジアの動きについて（副会長：村越）

別記事にもあるように、12月末に香港で開催されたアジアジュニア・ユース選手権(AsJYOC)では、日本のジュニア・ユースたちが活躍してくれました。同時に、かつてのように、簡単には勝たせてもらえない場面も多く見られました。種目と年代クラスによっては入賞者ゼロというクラスもありました。視点をアジア全体に広げれば、これは地区全体のレベルが上がったことを意味する喜ばしいことであると同時に、日本のジュニアにとってAsJYOCは挑戦のしがいのある大会になりつつあることも意味します。身近に競い合いの場のある環境は、選手強化にとってもプラスに働くことでしょう。

突然ですが、皆さんはアジアの語源をご存じでしょうか？私も、AsJYOCの閉会式でスピーチを頼まれ、慌てて調べてみたのですが、古代フェニキア人たちが東の方の地域を「日の出ずる地域」を意味するAsuという言葉で呼んだことが語源のようです。オリエンテーリングにおいても、今アジアはRegion of the Rising Sunと言えるでしょう。

日の出ずる地域を象徴する事が、AsJYOC時に行われたアジア地区のミーティングで可決されました。アジアオリエンテーリング協会(AOA)の設立です。これは2022年に日本から提案されたもので、アジア地区の発展やオリエンテーリングの評価向上を期待してのことでした。それが、1年半の議論を経て、ようやくアジア地区の総意となったのです。今後、事務手続きや役員を選任を経て、6月頃にシンガポールに登録される正式な法人として発足する予定です。AOA設立によって、アジア地区のコミュニケーションとオリエンテーリングの発展が進むことを期待するとともに、競技の世界ではアジアのオリエンテーリングを牽引してきた日本として、国際的な貢献での存在感も示したいものです。



ここ1,2年、東南アジアでのイベント開催、とりわけWREの開催が活発化しています。今年は10月以降、タイやシンガポール、インドネシアで「ASEAN O-League」も開催されます。その最後を飾るのが、年末のタイでのアジア選手権となります。国際大会開催の経験の少ないタイですが、香港からのプロマッパーによる地図作成に加え、日本からも支援の人材を派遣する予定です。また近隣のシンガポールや香港からも運営の支援が計画されています。アジア選手権を盛り立てることで、アジア地区の発展の更なる加速に力を貸してください。

●2024 FISU 世界大学スキーオリエンテーリング選手権大会を終えて（スキーO委員会）

2024年1月11日-1月16日にかけてスイス・レンツァーハイデにて世界大学スキーオリエンテーリング選手権大会が開催されました。

- ・参加14国、日本は男女合わせて9人の選手が参加した。
- ・体調不良の選手が多かった。時差や風土の違いから競技時に体調ベストになるように合わせるのが難しかった。
- ・今回初めて中国からの参加があった。同じ東アジア勢として、これから交流してゆきたい。
- ・スキーOが2025 FISU World University Games(WUG)(イタリア)の正式種目になった。これ以降WUGのパーマネント競技として、続けられることになる。日本ではJOC派遣の日本選手団の一員として参加することになる。今後はJOCの派遣する選手団に採用されるのか？ そのためにはJOCの準加盟団体になってゆくことが求められるのか？ さらなる国内活動が必要。
- ・スキーOが切り込み隊長として、世界や日本のスポーツシーンにオリエンテーリングが進出してゆく。スキーOで切り開いた道は、他の3種目にも影響を与えることを願っている。
- ・そのためにもスキーOの選手発掘と、国際大会で通用する選手まで強化することが必要である。

大会 Web サイト <https://www.wusoc.ch/>



荒町選手（パシュート）



道坂選手（ミドル）

■競技結果

スプリント競技(2024年1月12日)

男子(2.4km 125m 12C)

1	Jonatan STÅHL	SWE	0:10:43
24	道坂 怜生	日本	0:13:14
30	清水 嘉人	日本	0:15:19
34	小浦 姿	日本	0:19:11
35	安田 翔太	日本	0:22:25
36	橋本 純	日本	0:27:03

女子(2.3km 105m 12C)

1	Elin SCHAGERSTRÖM	SWE	0:12:18
28	長谷川 有希	日本	0:36:41
29	荒町 美希	日本	0:38:33
30	和田 真由子	日本	0:41:30
	高野 澄佳	日本	dns

パシュート競技(2024年1月13日)

男子(6.3km 200m 21C)

1	Nicola MÜLLER	SUI	0:28:32
22	道坂 怜生	日本	0:38:22
26	清水 嘉人	日本	0:45:53
29	小浦 姿	日本	0:56:43
30	橋本 純	日本	1:01:18
	安田 翔太	日本	mp

女子(5.2km 145m 17C)

1	Elin SCHAGERSTRÖM	SWE	0:30:33
27	長谷川 有希	日本	1:15:05
28	和田 真由子	日本	1:22:46
	高野 澄佳	日本	dns
	荒町 美希	日本	mp

ミドル競技(2024年1月15日)

男子(8.6km 310m 34C)

1	Nicola MÜLLER	SUI	0:37:16
25	道坂 怜生	日本	0:45:48
29	小浦 姿	日本	0:59:14
30	橋本 純	日本	1:14:26
31	安田 翔太	日本	1:19:40
	清水 嘉人	日本	mp

スプリントリレー競技(2024年1月16日)

1	スウェーデン 1	0:57:17
2	スイス 1	0:59:49
3	スウェーデン 2	1:00:02
12	日本 1	1:22:36
	1走 高野 澄佳	0:18:13
	2走 道坂 怜生	0:11:00
	3走 高野 澄佳	0:15:19
	4走 道坂 怜生	0:09:35
	5走 高野 澄佳	0:17:04
	6走 道坂 怜生	0:11:23
14	日本 2	1:28:37
	1走 荒町 美希	0:17:01
	2走 清水 嘉人	0:12:13
	3走 荒町 美希	0:16:43
	4走 清水 嘉人	0:12:08
	5走 荒町 美希	0:18:05
	6走 清水 嘉人	0:12:25

女子(7.6km 260m 29C)

1	Elin SCHAGERSTRÖM	SWE	0:38:39
29	高野 澄佳	日本	1:07:36
30	荒町 美希	日本	1:12:56
31	長谷川 有希	日本	1:24:34
32	和田 真由子	日本	1:30:12

●世界スキーO選手権およびジュニア世界スキーO選手権 2024 報告 (スキーO委員会)

2024年1月23日-27日にかけてオーストリア・ラムサウにて世界スキーオリエンテーリング選手権(WSOC)およびジュニア世界スキーオリエンテーリング選手権(JWSOC)が開催されました。

大会 Web サイト <https://wsoc2024.ski-o.at/welcome/>

- ・参加 18 国、選手数 110 人、オフィシャル 26 人(世界選手権)
- ・ヨーロッパ・北米・アジアの 3 大陸より参加があった。
- ・大会は 5 か国で TV 放映された。(IOF によるストリーミング放送以外に)
- ・世界選手権に併設されてジュニア世界選手権、ヨーロッパユース選手権が行われた。
- ・なかなか日本は結果が残せない中で、最後のスプリントリレーは当面のライバルのドイツに勝利できた。
- ・日本選手団は、大会期間中はアパートを借りて大会参加した。そのアパートは元クロカンスキーのオリンピック日本代表横山久美子さんが経営するもので、数々のアスリートが利用している。日本選手も多く利用している。現地では横山さんのお世話になった。
- ・大会始まると同時に春の陽気になり、融雪が一気に進んだ。雪不足の中、大会関係者は苦労されたようだ。
- ・大会開催直前に IOF 理事会で、2026 年スキーO 世界選手権が日本で実施されることが決定した。
- ・スキーO の世界的広がりを示す上で、日本開催は前向きに捉えられている。
- ・大会閉会式で IOF 旗の引継ぎが行われた。「日本の北海道では、3m の雪があります」のスピーチに大喝采を受けた。
- ・日本からも運営視察が行われ、運営の裏側まで見せてもらった。

■競技結果

スプリント

男子

1	Jorgen Baklid	(NOR)	0:13:04
37	石原湧樹	(日本)	0:16:37
53	清水嘉人	(日本)	0:20:36
59	小浦 姿	(日本)	0:22:50
61	道坂怜生	(日本)	0:23:03
65	高木一人	(日本)	0:30:36

女子

1	Magdalena Olsson	(SWE)	0:13:24
38	高野澄佳	(日本)	0:24:23
39	佐野 響	(日本)	0:24:52



スプリントリレー Japan1, Japan2

パシュート

男子

1	Jorgen Baklid	(NOR)	58:03
41	石原湧樹	(日本)	73:15
51	道坂怜生	(日本)	88:59
52	清水嘉人	(日本)	91:31
56	高木一人	(日本)	119:24
	小浦 姿(日本)		mp

女子

1	Magdalena Olsson	(SWE)	52:14
34	高野澄佳	(日本)	98:53
35	佐野 響	(日本)	114:30



ミドル 石原湧樹

ミドル

男子

1	Jorgen Baklid	(NOR)	0:44:03
36	石原湧樹	(日本)	0:53:31
54	道坂怜生	(日本)	1:05:15
56	清水嘉人	(日本)	1:05:57
62	小浦 姿	(日本)	1:17:16
63	高木一人	(日本)	1:20:30

女子

1	Anna Ulvensoen	(NOR)	0:45:14
38	高野澄佳	(日本)	1:19:30
39	佐野 響	(日本)	1:30:07

混合スプリントリレー

1	ノルウェー1	0:43:10
2	スウェーデン1	0:44:03
3	スイス1	0:44:08
18	日本1 (石原湧樹/高野澄佳)	0:58:05
20	日本2 (道坂怜生/佐野響)	1:06:58

●フット O の日本女子チーム Division2 に昇格！（強化委員会）

世界選手権(WOC)フォレスト ロング種目の国ごとの出場人数は、前回の成績で決まります。

Division1(8ヶ国)は3人、Division2(15ヶ国)は2人、Division3(その他の国々)は1人です。

奇数年の WOC がフォレスト種目ですので、昨年 WOC2023 の成績による来年 WOC2025 の Division が IOF から発表され、今回 Division2 から USA とカナダが Division3 に降格し、日本とスロバキアが Division3 から Division2 に昇格しました。

ロング種目での稲毛日菜子選手の 41 位(40 点)とリレー種目での 20 位(44 点)が昇格に大きく貢献しています。女子はこれで強化委員会の 2030 年までの長期目標の 1 つを早くも達成したことになります。もしアジア枠の 1 人を日本人が取れば、WOC2025 では日本人女子 3 人が Long を走ることが可能です。

National Quota for WOC 2025 Long distance competition - Women

Nation	Division (old)	Score	Long	Scoring runners	Middle	Scoring runners	Relay	Place
SWE	1	921	428	Alexanderson (2), Hagstrom (5), Risby(12)	253	Alexanderson (1), Lundberg (3), Hagstrom(9)	240	1
SUI	1	851	500	Aebersold (1), Gemperle (4), Roos(6)	191	Gemperle (2), Aebersold (13), Hauswirth(18)	160	2
NOR	1	675	372	Benjaminsen (3), Olausen (8), Andersen(10)	173	Dyrkorn (4), Benjaminsen (5), Lundanes(23)	130	3
FIN	1	511	296	Harju (9), Sianoja (11), Haapala(16)	101	Harju (6), Nurmi (20)	114	4
CZE	1	474	232	Janosikova (14), Horcickova (21), Cechova(32)	136	Janosikova (8), Horcickova (11), Kosova(30)	106	5
DEN	1	422	204	Oedum (20), Klynsner (28), Oebro(33)	118	Klynsner (16), Oedum (17), Klynsner(32)	100	6
GBR	1	410	236	Carter Davies (7), Andersen (30), Shepherd(31)	82	Carter Davies (12), Molloy (28)	92	8
IAT	2	329	160	Grosberga (18), Kuze (24)	89	Grosberga (7), Kuze (29)	80	13
ITA	1	326	162	Beauer (27), Bassat (35), Latalati(40)	68	Hanauer (27), Bassat (40), Carandry(48)	96	7
AUT	2	319	148	Ramstein (22), Polzer (26)	83	Gassner (15), Polzer (24)	88	9
POL	2	285	126	Wisniewska (15), Slusarczyk (44)	83	Hornik (14), Wisniewska (25)	76	12
GER	2	227	112	Mueller (29), Starke (37)	51	Mueller (22), Nieke (49)	64	15
HUN	2	211	98	Sarkozy (34), Mero (39)	45	Sarkozy (31), Mero (46)	68	14
EST	2	195	60	Rihma (36), Zimmermann (56)	51	Kaasiku (10)	84	10
NZL	2	151	72	Ingham (25)	19	Ingham (42)	60	16
ESP	2	130	52	Toledo Navarro (43), Gonzalez (53)	6	Toledo Navarro (55)	72	13
SVK	3	128	88	Smelikova (17)	40	Smelikova (21)	0	0
BUL	2	126	46	Dyakovska (48), Ivanova (51)	28	Ilieva (33)	52	18
UKR	2	123	56	Pitirimova (42), Babych (52)	11	Babych (50)	56	17
AUS	2	104	36	Round (47), Crane (57)	20	Round (41)	48	19
ITA	2	104	50	Pradel (38), De Biasi (59)	22	Pradel (39)	32	23
JPN	3	98	40	Inage (43)	14	Inage (47)	44	20
LTU	2	93	76	Razaityte Saunoriene (23)	17	Razaityte Saunoriene (44)	0	0
NED	3	80	14	van Dongen (54)	26	van Dongen (35)	40	21
MDA	3	73	22	Ribediuc (50)	23	Ribediuc (38)	28	24
POR	3	64	30	Rodrigues (46)	18	Rodrigues (43)	16	27
USA	2	55	6	Crocker (58)	25	Crocker (36)	24	25
BEL	3	54	2	Krekels (60)	16	Sillien (45)	36	22
CAN	2	40	32	Kemp (45)	8	Kemp (53)	0	0
ROU	3	33	24	Anghel (49)	9	Anghel (52)	0	0
CHN	3	25	0		5	Hao (56)	20	26
TUR	3	22	12	Avci (55)	10	Avci (51)	0	0
HKG	3	12	0		0		12	28
BRA	3	11	0		3	Ostetto (58)	8	29
RSA	3	4	0		4	Wimberley (57)	0	0
IRL	3	2	0		2	Moran (59)	0	0

Legend:

Green Moves up 1 division 緑色は Division Up

Yellow Stays in respective division

Red Goes down 1 division 赤色は Division Down

●今後の公認大会・講習会のお知らせ

- 3月10-20日 イベントディレクタ認定試験
- 6月10-20日 イベントディレクタ認定試験
- 9月10-20日 イベントディレクタ認定試験
- 10月19日 第13回全日本大会(ミドルディスタンス競技)【公認 A】 (岐阜県)
- 10月20日 第51回全日本大会(ロングディスタンス競技)【公認 A】 (岐阜県)
- 12月8日 第33回全日本リレーオリエンテーリング大会 (三重県)
- 2025年
- 2月9日 第17回全日本大会(スプリント競技) (東京都)

※コーチ講習会等調整中の日程は決まり次第 JOA ホームページにてお知らせします。

以上